

# 不動産情報の俯瞰的閲覧を可能にするVR探索インターフェース

中山裕紀, 大島裕明 (兵庫県立大学)

多くのユーザが家探しの際に不動産情報検索サイトを使用する。多くの不動産情報検索サイトでは、検索結果がリスト状に並べて表示される。この表示方法では多量の検索結果が表示された場合に、全て閲覧することが難しい。また、最寄り駅など絞り込む候補が大量に存在するとき、検索条件を決めるには各条件でどのような物件が多いかという不動産情報の全体像を把握することが重要である。本研究では、VRを用いて不動産情報を俯瞰的に閲覧し、全体像を把握することができるインターフェースを提案する。

## 不動産物件のグループ分け

- 条件ごとにグループに分ける
- グループごとに集約して表示
- 例) 50,000円-60,000円など10,000円ごとにグループ分け

## 物件数の割合を表示

- グループに含まれる物件数の割合をもとにパネルの枚数を変更
- 例1) 1,760件の物件は5枚のパネル
- 例2) 736件の物件は2枚のパネル

- : 三宮駅
- : 新長田駅
- : 学園都市駅



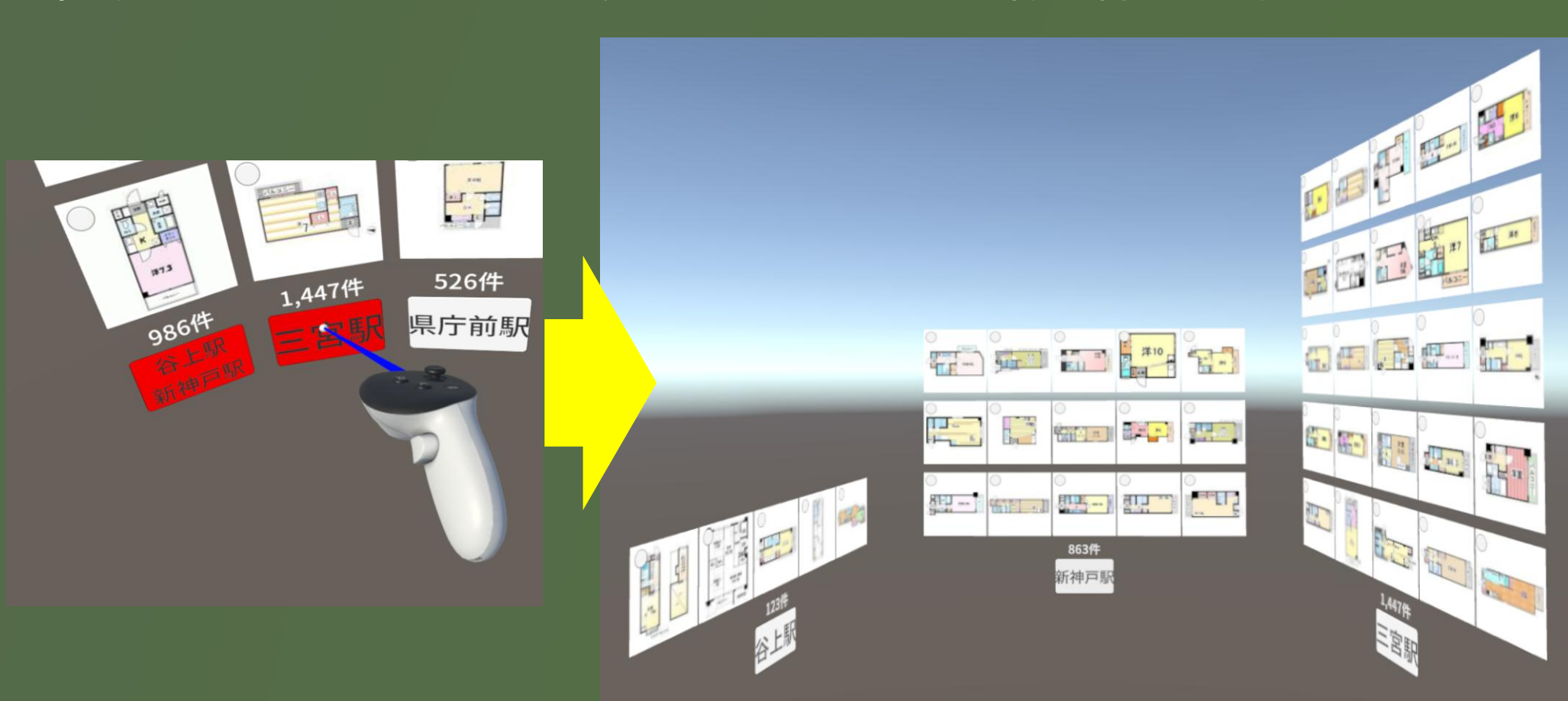
## LIFULL HOME'Sデータセット

- 神戸市営地下鉄沿線の物件データ27,463件
- 上記物件の画像データ480,270件

## 提案インターフェースの機能

### 絞り込み

条件を選択して表示される情報を絞り込む



### お気に入り登録

お気に入り登録した物件のみを表示



ボタンを押して物件を登録 お気に入り登録された物件のみを表示

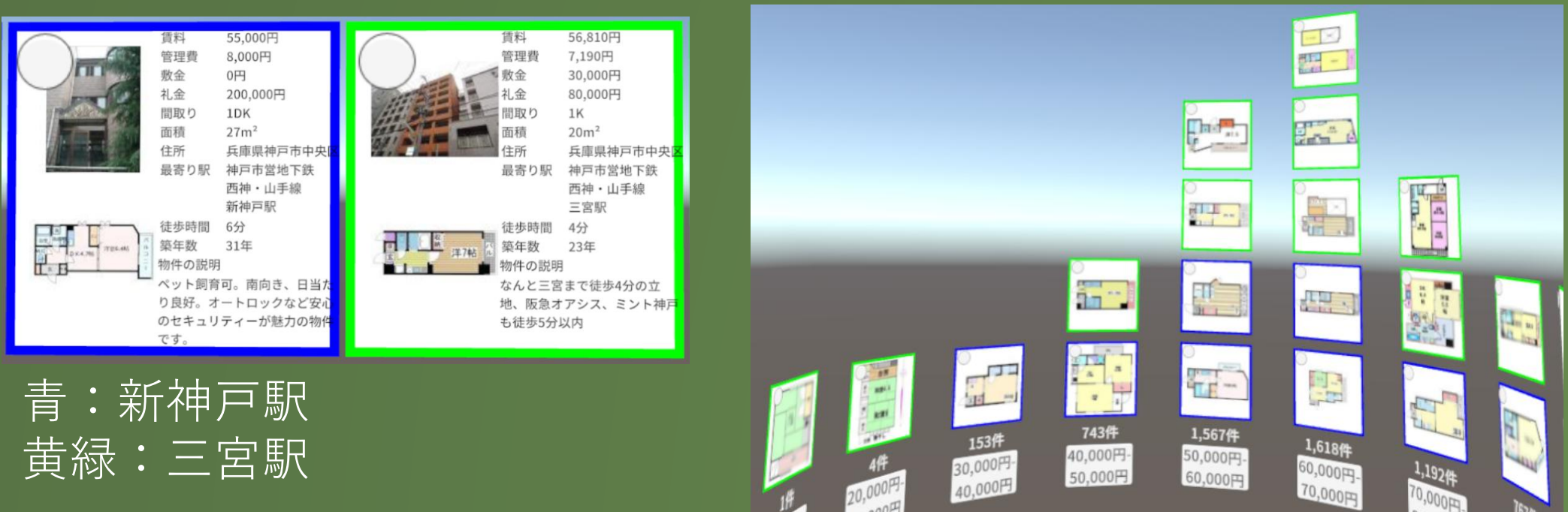
### LoD制御

表示情報に物理的に近づくと詳細な情報を表示



### 複数属性の情報提示

条件ごとに色分けを行う



表示されるとこのようになる

## 評価

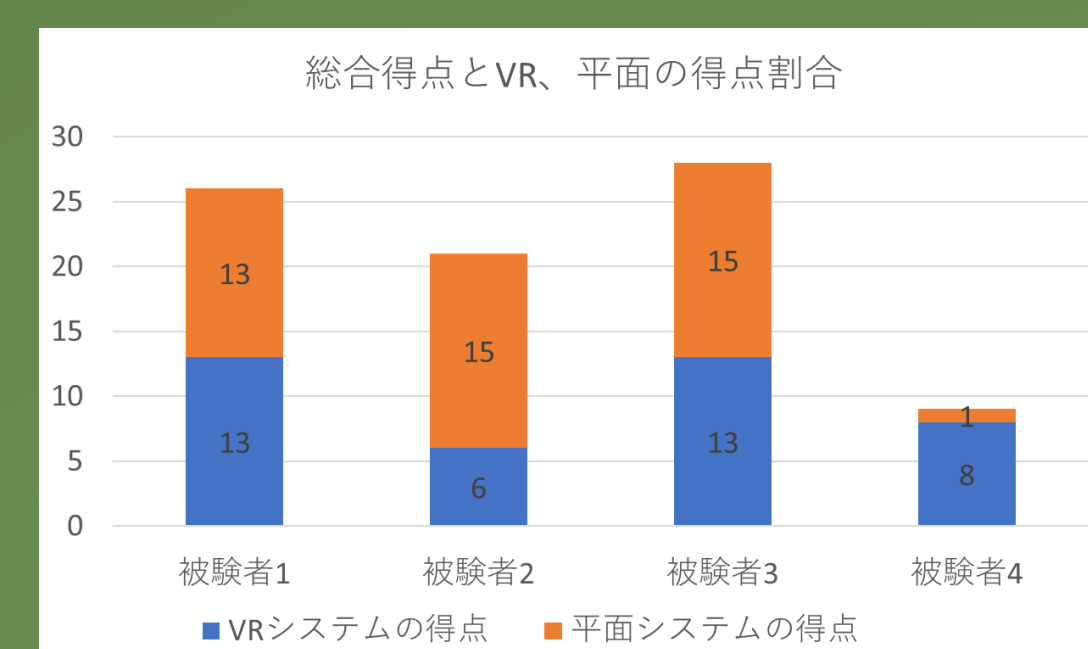
ユーザが不動産情報の全体像を把握できているか



両システムで探索後、クイズを行い評価

## 結果

- 全体的に正答率が低い
- VRの方が得点が低い
- クイズの出題内容が難しすぎる?



## 今後の展望

- 評価方法の見直し
- 平面インターフェースの俯瞰的表示への対応と比較
- 複数属性の情報提示手法の最適手法を検討